

## 災害時の小児・周産期医療体制について

## — 東京都周産期医療協議会 災害時周産期医療体制整備検討部会報告 —

## 1 設置の経緯

災害時における小児・周産期医療体制について検討するため、東京都周産期医療協議会の部会として設置

## &lt;参 考&gt;

【東京都保健医療計画（平成 30 年 3 月改定）】

## 災害時における周産期医療体制の検討

- 首都直下地震などの大規模災害に備えて、災害時においても機能する周産期医療体制を平時から構築する必要がある

## 災害時の小児救急医療体制

- 首都直下型地震などの大規模災害に備え、平常時だけでなく災害時においても小児患者に適切に対応できるよう、災害時を見据えた小児救急医療体制の整備が必要です。

## 取組 災害時における周産期医療体制の整備

## 取組 災害時小児救急医療体制

- ◆ 災害時小児周産期リエゾン養成研修（厚生労働省実施）へ医師等を派遣し、災害時に災害医療コーディネーターをサポートし、小児・周産期医療に特化した調整役を担う「災害時小児周産期リエゾン」を養成します。また、災害時小児周産期リエゾンと災害医療コーディネーターが連携した総合防災訓練などを実施します。

## 2 災害時周産期医療体制整備検討部会委員

別紙のとおり

## 3 検討経過

## ● 平成 29 年度

第 1 回：平成 29 年 12 月 19 日

- (1) 周産期救急医療体制及び小児救急医療体制について
- (2) 東京都の災害医療体制について
- (3) 災害時の小児周産期医療における課題について
- (4) 災害時小児周産期リエゾンについて

## ● 平成 30 年度

第 1 回：平成 30 年 8 月 1 日

- (1) 災害時の小児周産期医療における課題について

第 2 回：平成 30 年 11 月 5 日

- (1) 災害時の小児周産期医療について

第3回：平成31年1月30日

- (1) 災害時小児周産期リエゾンの役割について
- (2) 災害時の周産期医療について
- (3) 災害時の小児救急医療について

#### 4 主な検討内容

##### ○ 災害時小児周産期リエゾンの配置(案)について

###### 案① 東京都災害対策本部に東京都災害時小児周産期リエゾンを配置

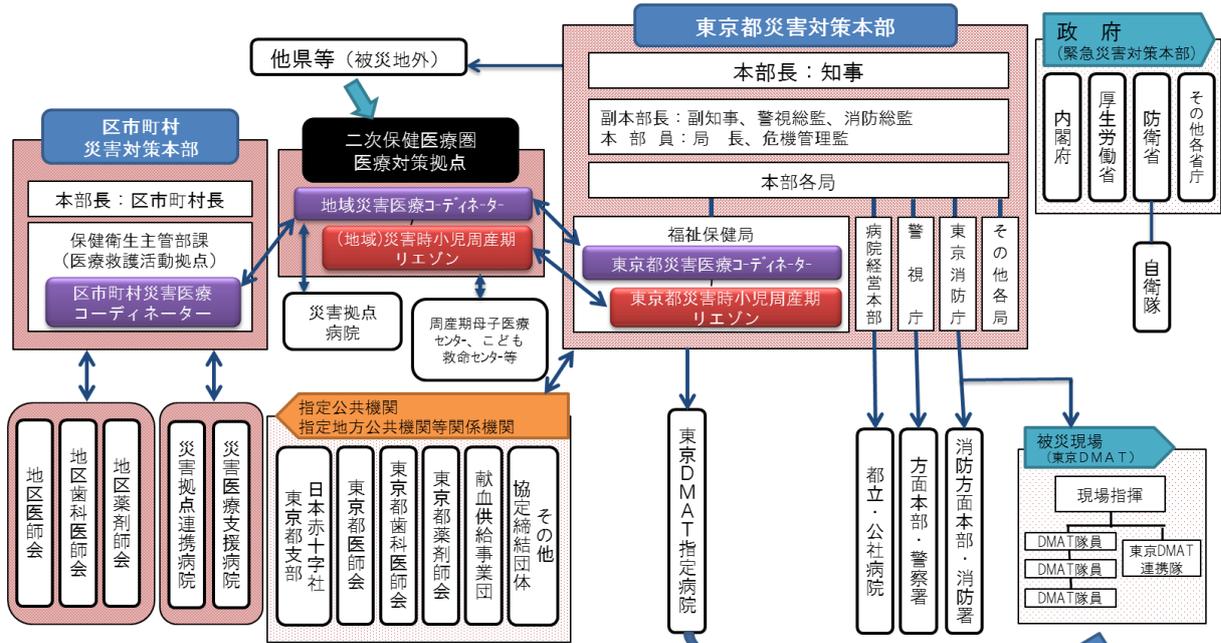
東京都災害時小児周産期リエゾンは東京都災害対策本部において、東京都災害医療コーディネーターのサポート役として、小児周産期医療に関する支援・調整を行う。

###### 案② 二次保健医療圏医療対策拠点に地域災害時小児周産期リエゾンを配置

地域災害時小児周産期リエゾンは二次保健医療圏医療対策拠点において、地域災害医療コーディネーターのサポート役として、小児周産期医療に関する支援・調整を行う。

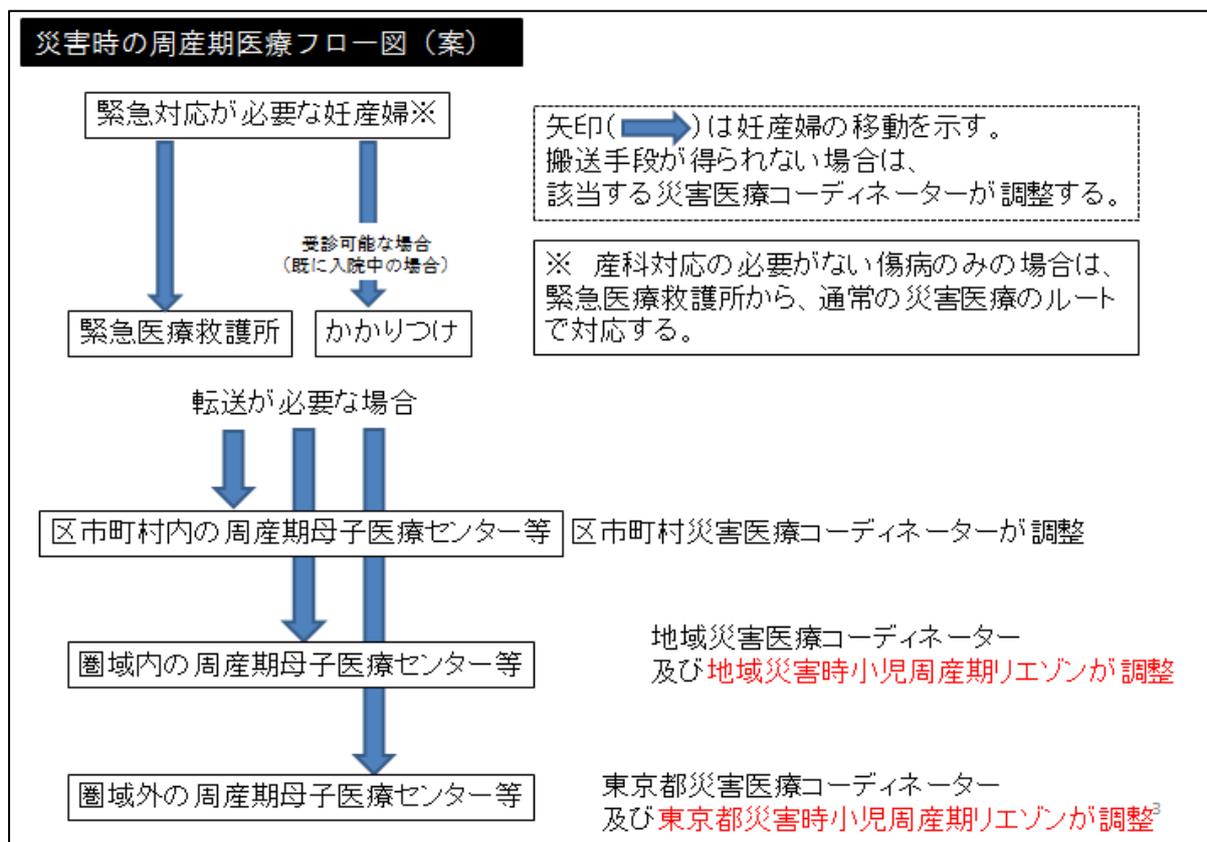
災害時小児周産期リエゾンの配置(案)

医療救護活動の連携体制：発災直後から急性期までの連携体制（災害時医療救護活動ガイドラインより）に加筆



※ 災害時小児周産期リエゾンは東京都災害対策本部において、東京都災害医療コーディネーターのサポート役として、小児周産期医療に関する支援・調整を行う。  
※ (地域)災害時小児周産期リエゾンは二次保健医療圏医療対策拠点において、地域災害医療コーディネーターのサポート役として、小児周産期医療に関する支援・調整を行う。

○ 災害時の周産期医療フロー図（案）



5 今後の予定

- 平成 31 年度 3～4 回 災害時周産期医療体制検討部会の開催
- 災害時小児周産期医療ガイドライン（仮）の作成
- 災害時小児周産期リエゾン養成研修への医師の派遣を継続
- 災害時小児周産期リエゾン研修の実施（地域災害時小児周産期リエゾンの養成）



(別紙)

## 災害時周産期医療体制検討部会委員名簿

(敬称略)

所属・職	氏名	備考
《保健医療機関・団体の代表》 公益社団法人東京都医師会理事 一般社団法人東京産婦人科医会副会長 公益社団法人東京都助産師会災害対策委員会委員長	正木 忠明 松本 和紀 名嘉真 あけみ	
《災害医療分野代表》 公益社団法人東京都医師会副会長 東京医科大学八王子医療センター救命救急センター部長 武蔵野赤十字病院救命救急科第二救急部長	猪口 正孝 新井 隆男 原田 尚重	災害医療コーディネーター 地域災害医療コーディネーター 日赤災害医療コーディネーター
《救命部門代表》 日本大学医学部教授	木下 浩作	救命
《周産期医療施設代表》 杏林大学医学部客員教授 日本赤十字社医療センター第一産婦人科部長 都立小児総合医療センター副院長 一般社団法人東京産婦人科医会理事	楠田 聡 宮内 彰人 近藤 昌敏 川嶋 一成	新生児・協議会長 産科（総合・区部） 新生児（総合・多摩） 産科
《小児科医療施設代表》 東京大学医学部教授	岡 明	小児科
《周産期母子医療センター看護部門代表》 杏林大学医学部付属病院看護師長	森田 知子	助産師（総合・多摩）
《小児周産期リエゾン関係者》 自治医科大学教授 東京大学医学部講師 独立行政法人国立病院機構災害医療センター臨床研修部医師	細野 茂春 松本 陽子 岬 美穂	新生児 産科（総合・区部）
《小児周産期リエゾン代表》 日本医科大学教授 東京女子医科大学教授 都立小児総合医療センター集中診療科部長	中井 章人 長谷川 久弥 清水 直樹	産科・多摩永山病院（連携・多摩） 新生児・東医療センター（地域・区部） 小児科（総合・多摩）
《行政機関代表》 東京消防庁救急部救急医務課長 世田谷保健所所長 西多摩保健所所長 豊島区保健福祉部地域保健課長事務取扱健康担当部長 八王子市医療保険部大横保健福祉センター館長	江原 浩仁 辻 佳織 播磨 あかね 櫻原 猛・ 富山 佳子	特別区保健所長会 都保健所長会 特別区保健衛生主管課長会 市保健衛生担当課長会

任期：平成29年10月1日から平成31年9月30日まで

災害時小児周産期リエゾン養成研修受講者一覧

平成31年3月現在

	所 属	氏 名
周産期（産科）	日本赤十字社医療センター	宮内 彰人
	都立墨東病院	兵藤 博信
	杏林大学医学部附属病院	谷垣 伸治
	日本医科大学多摩永山病院	中井 章人
周産期（新生児）	国立成育医療研究センター	諫山 哲哉
	都立小児総合医療センター	岡崎 薫
	東京女子医科大学東医療センター	長谷川 久弥
小児	東京大学医学部附属病院	松井 彦郎
	国立成育医療研究センター	植松 悟子
	都立小児総合医療センター	清水 直樹

<参考> 東京都周産期母子医療センター及び周産期連携病院の現況

平成30年10月1日

■ 周産期母子医療センター

区分	施設名	所在地	NICU (床)	M-FICU (床)	指定・認定 年 月	
区部	総合	愛育病院	港区	12	9	11年 4月
		東京大学医学部附属病院	文京区	9	6	23年 4月
		昭和大学病院	品川区	15	9	15年 4月
		東邦大学医療センター大森病院	大田区	15	9	9年10月
		日本赤十字社医療センター	渋谷区	15	6	13年11月
		国立成育医療研究センター	世田谷区	21	6	24年8月
		東京女子医科大学病院	新宿区	18	9	9年10月
		都立大塚病院	豊島区	15	6	21年10月
		帝京大学医学部附属病院	板橋区	12	10	10年 4月
		日本大学医学部附属板橋病院	板橋区	12	9	14年 4月
		都立墨東病院	墨田区	15	9	11年 6月
	総合周産期母子医療センター区部計(11施設)			159	88	
	地域	聖路加国際病院	中央区	6	—	12年 4月
		東京慈恵会医科大学附属病院	港区	9	—	11年 1月
		順天堂大学医学部附属順天堂医院	文京区	6	4	9年10月
		東京医科歯科大学医学部附属病院	文京区	6	—	27年 4月
		東京医科大学病院	新宿区	12	—	9年10月
		慶應義塾大学病院	新宿区	9	6	16年 6月
		国立国際医療研究センター病院	新宿区	6	—	22年10月
		東京女子医科大学東医療センター	荒川区	9	—	16年 9月
		葛飾赤十字産院	葛飾区	12	—	9年10月
賛育会病院		墨田区	6	—	9年10月	
地域周産期母子医療センター区部計(10施設)			81	10		
区部計(21施設)			240	98		
多摩	総合	杏林大学医学部付属病院	三鷹市	15	12	9年10月
		都立多摩総合医療センター・小児総合医療センター	府中市	24	9	22年 4月
		総合周産期母子医療センター多摩計(2施設)			39	21
	地域	町田市民病院	町田市	6	—	21年 2月
		国家公務員共済組合連合会 立川病院	立川市	6	—	27年 4月
		武蔵野赤十字病院	武蔵野市	6	—	18年 4月
		公立昭和病院	小平市	6	3	25年 4月
地域周産期母子医療センター多摩計(4施設)			24	3		
多摩計(6施設)			63	24		
合計(27施設)			303	122		

(注) 病床数(NICU及びM-FICU)は認定病床数である。

■ 周産期連携病院

区分	施設名	所在地	NICU (床)	M-FICU (床)	指定年月
区部	日本医科大学付属病院	文京区	3	—	21年 3月
	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	目黒区	3	—	21年 3月
	東京北医療センター	北区	3	—	21年 3月
	東京都保健医療公社豊島病院	板橋区	—	—	22年10月
	順天堂大学医学部附属練馬病院	練馬区	—	—	21年11月
	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	葛飾区	—	—	21年 4月
	昭和大学江東豊洲病院	江東区	9	—	27年12月
周産期連携病院 区部計(7施設)			18	0	
多摩	青梅市立総合病院	青梅市	—	—	22年 4月
	日本医科大学多摩永山病院	多摩市	—	—	21年 3月
	稲城市立病院	稲城市	—	—	30年 4月
	日野市立病院	日野市	—	—	30年10月
	東京慈恵会医科大学附属第三病院	狛江市	—	—	25年 1月
周産期連携病院 多摩計(5施設)			0	0	
合計(12施設)			18	0	
計(39施設)			321	122	

【参考：現在の小児救急医療機関】

二次保健医療圏	区市町村	NO	病院名	こども救命センター	救命救急センター	指定二次救急医療機関(小児科)	災害拠点病院	災害拠点連携病院
区中央部	千代田区	1	日本大学病院		○	○	○	
	中央区	2	聖路加国際病院		○	○	○	
	港区	3	東京慈恵会医大病院			○	○	
		4	虎ノ門病院			○		○
	文京区	5	東京都済生会中央病院		○		○	
		6	日本医科大学病院		○	○	◎	
		7	順天堂医院			○	○	
		8	東京大学病院	○	○	○	○	
区東部	墨田区	32	都立墨東病院		○	○	◎	
		33	賛育会病院			○		○
	江東区	34	江東病院			○	○	
		35	昭和大学附属江東豊洲病院			○	○	
	江戸川区	36	東京臨海病院			○	○	
区南部	品川区	9	昭和大学病院		○	○	○	
	大田区	10	東邦大学大森病院		○	○	◎	
		11	荏原病院			○	○	
区西南部	目黒区	12	東邦大学大橋病院			○		
			東京医療センター		○		○	
	世田谷区	13	国立成育医療研究センター	○		○		○
	渋谷区	14	都立広尾病院		○	○	◎	
15		日赤医療センター		○	○	○		
区西部	新宿区	16	東京女子医大病院		○	○	○	
		17	東京医科大学病院		○	○	◎	
		18	慶應大学病院			○	○	
		19	国立国際医療研究センター		○	○	○	
	杉並区	20	河北総合病院			○		○
区西北部	豊島区	21	都立大塚病院			○	○	
	北区	22	東京北医療センター			○	○	
		23	日大板橋病院	○	○	○	○	
	板橋区	24	帝京大学病院		○	○	◎	
		25	豊島病院			○	○	
	練馬区	26	練馬光が丘病院			○	○	
		27	順天堂大学練馬病院			○	○	
区東北部	荒川区	28	東京女子医大東医療センター		○	○	◎	
	足立区	29	博慈会記念病院			○	○	
	葛飾区	30	慈恵会医科大学葛飾医療センター				○	
31		東部地域病院			○	○		
西多摩	青梅市	37	青梅市立総合病院		○	○	◎	
南多摩	八王子市	38	東京医大八王子医療センター		○	○	◎	
		39	東海大学八王子病院			○	○	
		40	南多摩病院			○		
	町田市	41	町田市民病院			○	○	
	日野市	42	日野市立病院			○	○	
	多摩市		日医大多摩永山病院		○		○	
		43	多摩南部地域病院			○	○	
稲城市	44	稲城市立病院			○	○		
北多摩西部	立川市	45	共済立川病院			○	○	
			災害医療センター		○		◎	
	武蔵村山市	46	武蔵村山病院			○		○
昭島市	47	太陽こども病院			○			
北多摩南部	狛江市	48	慈恵医大附属第三病院			○	○	
	武蔵野市	49	武蔵野赤十字病院		○	○	○	
	三鷹市	50	杏林大学付属病院		○	○	○	
	府中市	51	小児総合医療センター	○		○		◎
		多摩総合医療センター			○			
北多摩北部	小平市	52	公立昭和病院		○	○	◎	
	東村山市	53	多摩北部医療センター			○	○	